## からはじめる の腔機能低下症



## 【著】小原由紀

平成30年度診療報酬改定で新病名として認められた口腔機能低下症。令和4年度の改定では、算定要件が65歳以上から50歳以上と大幅に引き下げられ、今後より多くの適用が見込まれます。口腔機能の低下は、う蝕や歯周病、不適合補綴物などに加え、加齢や全身疾患、低栄養、薬剤の副作用などの影響も受け、病態が複雑化しやすいとされています。本疾患の診断は歯科医師がつけますが、検査や実際の対応は歯科衛生士が担うケースが多く、歯科医院全体で正しく理解しておく必要があります。本書では、口腔機能低下症の前知識として欠かせないオーラルフレイルから検査、管理の事例、そして支援まで、臨床現場に必要な知識・ノウハウをやさしく解説します。

**入門&実践書** 

し、位落とし込みまで

詳しい情報を

## AB判・80頁・オールカラー 本体4,500円+税

- 1. フレイルとオーラルフレイルを知ろう
- 2. 口腔機能低下症の基礎
- 3. 口腔機能の評価方法①
  口腔機能低下症の検査のポイント
- 4. 口腔機能の評価方法② □腔不潔と□腔乾燥
- 5. 口腔機能の評価方法③ 咬合力低下と舌口唇運動機能、舌圧

- 6. 口腔機能の評価方法 4 咀嚼機能と嚥下機能
- 7. 口腔機能低下症の管理① 管理計画のプロセスとポイント
- 8. **口腔機能低下症の管理②** 下位症状別の対応
- 9. 口腔機能低下症の管理③ 咀嚼・嚥下機能低下への対応

- 10. 食生活指導
- 11. 事例で考える 口腔機能低下症の管理
- 12. 口腔機能低下症患者の 行動変容を支援する アプローチ





GENERAL DENTAL CATALOG

歯科製品3,500点以上掲載!

無料でご利用いただけます。 閲覧には会員登録が必要です。 登録はこちらから

https://dentalcatalog.jp/temp/door/









